

村の魅力である世界遺産中城城跡の城下町の伝統的な集落景観や緑の骨格となる斜面緑地の自然景観の保全を目的として、景観計画で太陽光パネルの設置に関する制限を定めている。

## 🔍 基礎情報

自治体名	沖縄県北中城村
規模	人口：1.8万人 面積：11.5 km <sup>2</sup>
景観の取組状況	景観行政団体／景観計画策定 重点地区 景観重要建造物 景観重要樹木 景観重要公共施設 景観協定 景観整備機構 景観協議会 景観地区等 屋外広告物条例

## 取組の概要

### 景観形成基準によって太陽光パネルの設置を制限

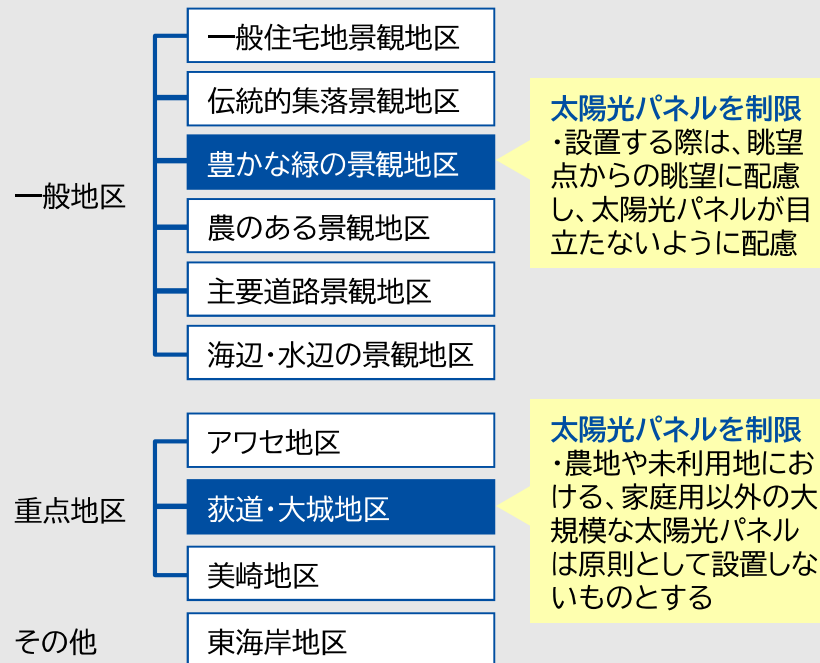
一般地区の「豊かな緑の景観地区」、重点地区の「荻道・大城地区」において太陽光パネルの設置に対して景観形成基準に基づく制限を設けている。

### 太陽光パネルの新設等において一定規模以上は届出対象行為に位置付け

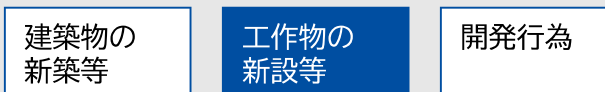
届出対象行為として、工作物の新設等に太陽光発電設備を位置づけ、制限しないエリアも含めて一定規模以上の太陽光パネルに対して景観形成基準への適合を求める。

## 【景観計画における太陽光パネル制限に関する記載】

### 景観形成基準の体系



### 届出対象行為



# 【沖縄県北中城村】太陽光パネルの設置規制による自然・文化的景観の保全

## 取組の背景

### 緑の骨格、歴史資源を活かした景観形成

- ・ 村の中央部と南部に広がる丘陵地の斜面が、北中城村の骨格的な景観を形成している。また、村内には普天間川をはじめとする3つの河川が流れ、変化に富んだ地形が特徴である。
- ・ 平成12年に中城城跡が世界遺産に登録されたことを契機として、歴史資源を活かしたまちづくりを進めている。
- ・ 村の長期計画においても、村の魅力となっている緑の骨格の保全、歴史文化資源を活用した良好な景観形成が位置付けられている。

### 村の主な眺望点

- ・ 「太陽光パネルは眺望点からの眺望に配慮し、太陽光パネルを含む設備類が目立たないように配慮する」とある。
- ・ 村の主要な眺望点は、「中城城跡、あやかりの杜、渡口みどり公園、若松公園、大西テラスゴルフクラブ周辺等」と記載あり。



若松公園からの眺望

## 取組の効果

### 文化的景観の保全

- ・ 世界遺産中城城跡のバッファゾーンとして良好な景観形成が求められる荻道・大城地区において、太陽光パネルを景観法の届出対象とし、農地や未利用地における、家庭用以外の大規模な太陽光パネルの設置を原則禁止とすることで、大規模な太陽光パネルの設置によって、景観が阻害されることを未然に防ぐことが期待される。